

食から学ぶ SDGs



エコフィードで育った豚肉を使用した「SDGs 給食」を 市長と児童が喫食します！

今年度、SDGsについて様々な取組を実施してきた富士見小学校4年3組の児童が、「リキッド発酵飼料「エコフィード」(※)」で飼育された豚肉「優とん」を使用した「SDGs給食」を市長と喫食しますので、お知らせします。当日は、授業の中で児童が考えた献立を提供します。

日 時：令和6年2月2日（金）12:10～12:40

場 所：富士見小学校

（相模原市中央区富士見2-4-1）

献 立：ごはん、豚肉のしょうが焼き、かきたま汁、牛乳



《富士見小 SDGs出前授業の様子》

※ 当日は給食喫食のほか、4年3組の児童が今年度のSDGsの取組を市長に発表します。

※ 取材を希望される場合は、令和6年1月31日（水）正午までに学校給食課までご連絡ください。

SDGs給食の取組について

今年度、給食残さ飼料化事業を実施している市内小学校(13校)において、(株)日本フードエコロジーセンター(相模原市中央区田名塩田)の開発による「エコフィード」で育った豚肉「優とん」を使用した「SDGs給食」を各校1回ずつ実施しています。

本事業は、一般社団法人食品ロス・リボーンセンター(東京都千代田区)が中心となって、行政、学校、企業、食品ロス削減に取り組む団体等が連携して実施しており、給食提供のほか、食品ロスに関する専門家等による出前授業を行うことで、食品ロス問題をはじめとするSDGsの理解促進につなげる取組です。

※ エコフィードとは??

環境や経済を意味する「eco」と飼料を意味する「feed」を合わせた造語で食品工場や流通過程で発生する余剰食品、小売店や給食センターで発生する売れ残りや調理屑を利用して製造された家畜用飼料です。



問合せ先 学校給食課
電話 042-769-8283
対応責任者 鈴木